

道東地区教会連合会機関誌



道東 う ほ う 光 報



'DŌTŌUKŌHŌ', Journal of KONKOUKYOU East Hokkaido reg., No.17 Oct., 2006

道東地区の青年の集い顛末

網走教会長 菊川松次郎

今年、七月二十二日、二十三日、網走を会場に、道東地区教会連合会「青年の集い」が開催された。

昭和の初め頃は網走教会においても青年会が組織されていたり、全国的にも青年会活動が活発であった様だが、近年信奉者数の減少に伴い、青年信徒の数も少なくなり、その活動は著しく停滞している。地方においては、そのことが顕著に表れ、北海道教区においてさえも、毎年開催される青年の集い「どさんこパーク」への参加者は少なく、スタッフの数の方が多いという状態が続いている。教区においてそうであるから、連合会ではなおさらである。

私と十勝教会の玉置衛先生とはいろんなご用で一緒になることが多く、いつもこうした現状を憂いていた。何とかこの道東地区で青年の集いを開催できない

だろうか、各教会では青年信徒の数は、一人二人でも、連合会で集まれば五人六人となり、同じお道の青年同士の交流が図られるはずだがと話し合っていた。

そうした中であって、一昨年の連合会総会時に、ある信者さんから「青年信徒の集いが必要である。ぜひ連合会で開催してほしい。」との要望があった。私と玉置先生は、この機会を逃してはならないと進んでその企画に乗り出し、連合会からも正式に開催の予算組がなされ、この度の「第一回道東地区青年の集い」開催の運びとなったのである。

開催十日まえの時点での参加申し込みが、五人ほどあり、これならありがたいと思っていたのだが、直前になりみんなの都合が悪くなり、北見教会の横畠さん一人のみの参加となつてし

まった。開催前々日、私は、こうした状況で開催したとしても、果たして横畠さんに喜んでもらえるだろうか、との不安がつのり、開催の延期を考え玉置先生と相談するべく連絡を取ろうとした。しかし、こういうときに限って連絡が取れないものである。さて、どうしたものかと思案するうちに、いつそ参加者である横畠さんに直接意見を聞いてみようと思いついたのである。

すると、横畠さんが、「中止するのは簡単だ。こうしたお道の集いの場合、人数は少なくても開催することに意義があるように思う。それに以前、教区の青年の集い（どさんこパーク）に参加してとても有意義だったこともあるし、ぜひ開催してほしい。」と言ってくれたのである。

主催者側として、これ程勇気

づけられる言葉はない。とてもありがたく準備にも力がわいてくる。結局、参加者は網走の藤本君と札幌から応援に駆けつけてくれた五十嵐さん（本部青年フォーラムのメンバーで小樽教会在籍）と阿藤さん、私と玉置先生を入れて六人で開催することが出来た。

例え参加者が一人でも、楽しみにしてくれる人がいるということが、どれだけありがたいことか、一人を大事にすることがどれだけ大切なことを学ばせてもらった。これからも「継続は力なり」で頑張っていきたいと思う。

大祭日程

北見教会布教 90 年記念大祭	
10 月 15 日 (日) 14 時	
釧路教会	10 月 22 日 (日)
網走教会	10 月 29 日 (日)
帯広教会	11 月 5 日 (日)
十勝教会	11 月 19 日 (日)
滝上教会	

帯広教会

帯広市東四条南八丁目四番地
TEL 〇一五五—一三—六八三五
FAX 〇一五五—一三—六八三五

昨年も婦人部の活動についてお知らせいたしました。今年も去る五月七日、婦人部企画第四弾として蕎麦打ち講習会を開催いたしました。最近手打ち蕎麦が人気があり、個人でもサークルに入り家族や友人達に腕前を披露しているそうです。

帯広教会でも手打ち蕎麦の師範を知っているという方がおりましたので講習会を開催いたしました。当日はほんのり暖かく、ざるそばが美味しいう天気具合をいただきました。参加者は二十名というところもあり、二名の師範の方に来ていただきました。準備段階から蕎麦打ち台、道具等を一つ一つ丁寧に教えてくださいました。最初に、講師からは十割そばの打ち方を教わり、その後は二・八そばの打

ち方を説明を受けながら実際に蕎麦打ちを行い、さらに打ったそばを切りきれいに並べるまで指導をしていただきました。参加者は四つのグループに分かれて粉と水の配分、混ぜ方、捏ね方、延ばし方等一人ひとり指導していただきました。その後はざるそばと温かいそばに分けて美味しく頂きました。さすがに自分で打ったそば、またその場で頂くそばは大変美味しいものです。参加者の一人は更に個人的に指導していただきました。またみんなが気楽に楽しめるような企画をしたいと願っています。

(田中)

網走教会

網走市北四条西一丁目六番地
TEL 〇一五—一四三—三九五四
FAX 〇一五—一四三—三九五四

この時期には、教会も連合会も本年度の祭典以外のほとんどの行事が終わっています。

す。どうしても六、七、八月に行事が集中するということがあるからでしょう。短い夏の行事が集中せざるを得ないということもわかつてはいるのですが、北海道に来て八年、冬場だから、北海道の冬だからこそ出来ることはないものかと思案してきましたが、それもなかなか難しいようです。今年から、始まった道東地区青年の会も、雪の季節にスキーやらスケートなどで交流、懇親が出来たらと思わされます。

そろそろ雪かきや氷点下の寒さが思われる季節となりますが、こうしたマイナスイ面をプラスに転換させて頂きたいものです。

(菊川)

釧路教会

釧路市宮本一丁目五番二二号
TEL 〇一五四—四一—三五一
FAX 〇一五四—四一—三六一

北見教会の、ご布教九十年祭、おめでとうございます。

ここから、ますますのご発展をお祈り申し上げます。

さて、教会長の私事で申しわけないが、昨年六月から八月末まで、「頸椎症」で入院した。その入院前の診断で、「手遅れです。この病院から歩いて帰れるとは思わないでください」と主治医の先生から言われていた。

退院一年目の診察が九月六日にあった。レントゲンやCTまで撮る物々しい検査で、主治医がそれらを診ながら、「この頃、調子が良いでしょう」、「はい、おかげさまで」と、診察はこれで終わるのかと思った。(それでも、十分おかげを頂いてでいると思っている。)

ところが、主治医が私の顔をしげしげと見ながら、「君が、ここまで回復するとは思っていません」と言われた。一瞬にして手術前の診察の時を思い出し、ぞっとした。術後のあまりの回復に、あの言葉は「医師の脅しでは

なかったか」と思っていたからである。

「神経の病気は、医者にもどくすることもない。その最初を忘れると、有り難さが解らないよ」と、念を押された。私がここまでおかげを頂いたのは、携わってくださった医師団のおかげもあるけれど、日々働いてくださる神様のおかげだったのだと、意を正す思いをしている。

(江郷)

滝上教会

紋別郡滝上町元町土別通り

滝上教会の兼務教会長である江郷先生が、病氣療養中のため、春の御大祭から私、矢代が代理としてご用に当たっております。滝上は、北見から車で約二時間半ですから、釧路から通われた江郷先生のご苦勞を今更に拝察しておりますが、先生のご尽力で、滝上の皆さんも信心の道を守り、大祭も和やかな雰囲気の中

で仕えられておりますことは、本当に有り難いことです。

滝上は、春は芝桜の名所として賑わいますが、普段は静かな、まるで童話の世界を思わせるのどかな山里です。それだけに、百年近く前に来道した開拓者の目に映った滝上の姿を思うと、そのご苦勞に今更に頭が下がります。先人のご苦勞にはほど遠く、同じ体験はできるはずありませんが、せめてその開拓の不屈の精神だけは、長く受け継いでいきたいものです。

(矢代)

十勝教会

池田町旭町一丁目九番地二二
TEL 〇一五五七二一三三三
FAX 〇一五五七一四二二三

七月の交流パークゴルフ大会には大勢のご参加をいただきありがとうございます。コースが比較的簡単なこともあり大接戦となりましたが、その分誰もが楽しめたのではないかと思います。また今年

は一泊での連合会信心研修会も復活しました。

人が集うことによつて様々なモノが生まれてきます。人が集うことによつて力が生まれます。レクリエーションであれ研修であれ、信仰を一緒にする者同士が集うこと、それは何かを生み出すことに他ありません。楽しいから始まる力、日常の生活のプラスになる力、信心のプラスになる力などなど。決して目に見えるモノとは限りませんが、集い、楽しみ、話し合うことがわたしたちの日常にプラスになることはちがひありません。まずは参加すること。そこから始めましょう。

(玉置)

北見教会

北見市寿町三丁目五番一号
TEL 〇一五七一四一七四七四
FAX 〇一五七一四一七四七四

九月二十八日現在、十月に迎える九十年祭の参拝者数もほぼ決まり、その準備も大詰

めを迎えています。道東地区各教会からは、大勢のご参拝を頂けるようで、本当に有り難く、大いに励まされる思いですが、色々行き届かぬ点が多いことを案じています。この場をお借りして、あらかじめお詫びします。この度の祭典は、開拓の精神を中心に据えて全体を考えましたので、私も一つ新しいことに挑戦しよう、祭典のしおりを一人で手作りしてみました。始めて手がけることなので、函館教会長に指導を仰ぎ、細かに教えてもらいながらの作業でしたが、それは思いのほか楽しく、出来上りの善し悪しは別として、完成した時のうれしさは格別でした。ほんの数ページのしおりの作成でしたが、物を作る難しさと喜びの一端にふれて、天地を相手の生産者だった教祖様が、生み出された信心の成長に思いを巡らせた経験でした。

(矢代)

連合会の動き

▼道東地区

教会連合会研修会

「よりよい教会をもとめて」

日時 六月十七日(土)
会場 網走市
ホテルしんばし

提言 池亀徳和氏
横畠安男氏

内容 提言をうけて
班別懇談と全体

参加者 三十三名
討論

▼道東地区

「あいよかけよの集い」
(教務センター共催)

「行動・信心親切」
―広げよう親切の輪、分

かち合おう喜びの心―」
日時 六月十八日(日)

会場 網走教会
講師 正岡信之師

(運動推進員
札幌北教会)

内容 テーマ懇談

参加者 三十一名

▼第六回道東地区教会連合

会交流パークゴルフ大会

日時 七月二日(日)
会場 池田町清見ヶ丘
公園P・G・場

主な成績

教会別
優勝 網走教会
優優勝 釧路教会
準優勝 十勝教会

個人
総合優勝 新谷基衛氏
男性一位 松井正夫氏
女性一位 田中年子氏

次回当番教会 帯広教会

▼道東地区青年交流会

日時 七月二十二(土)
二十三日(日)

会場 道立オホーツク
公園オートキャ
ンプ場

内容 これからの青年
交流会のあり方
について

懇親会

参加者 青年信徒四名
青年教師二名

参加者家族四名

▼教区少年少女キャンプ

「みどりのひろば」
(教務センター共催)

日時 八月四日(金)
五日(日)

会場 虻田郡豊浦町

内容 海水浴、釣り、
ゲームなど

参加者 道東地区から
二十名

▼教区青年の集い

「どさんこパーク」
(教務センター共催)

日時 八月二十六日(土)
二十七日(日)

会場 岩見沢教会

内容 懇親と金光教に
ついての懇談
(なぜなに金光教)

参加者 道東地区から
青年教師二名

道東地区教会連合会

役員会(予定)

日時 十一月二十三日

担当 十勝教会